



南十字星

発行者
クイーンズランド
日本語補習
授業校校長
丸山吉信

今後の予定

- 六月二十八日
 - ・ 海外子女文芸作品原稿締切
 - ・ 第一学期終業式
 - ・ GC 第一回運営委員会
- 【事務お休み】
- BNE 六月二十七日～七月七日
- GC 六月二十八日～七月八日
- 七月十二日
 - ・ 第二学期始業式
 - ・ 両校七夕集会
- BNE 運動会打ち合わせ会
- 七月十九日
 - ・ GC 教員研修
- 七月二十六日
 - ・ BNE 理科学習の日
- BNE 第二回運営委員会
- 八月二日
 - ・ GC 休校 (オールセインツ祭のため)
- 八月九日
 - ・ BNE 運動会 (予備日二十三日)
- 八月十六日
 - ・ BNE 授業参観 & 学級懇談会

海外子女文芸作品

コンクール案内 (リマインド)

六月二十八日が海外子女教育振興財団の第三十五回文芸作品コンクールの原稿締切日になっています。ひとりが作文、詩、俳句、短歌の全部門への応募が可能です。詳しくは、海外子女教育財団のホームページをご覧になり、応募票を付けて終業式の日に学級担任までご提出下さい。

教育相談案内 (リマインド)

今年の教育相談 (担任面談) は、昨年より期間を長く設定してあります。六月二十一日から十月二十五日の間に主に放課後十三時までの間に行います。クラスにより、保護者からの申し込みによるだけでなく、担任からの求めによる場合もあります。詳しくは、各学級担任にお問い合わせ下さい。また、日本の大学受験、中高帰国子女入試については校長宛てにメールでご相談下さい。

朝練について

ブリスベン校で二十一日に運動会種目の「むかで競争」と「二人三脚」の練習をしました。昨年、うまくできなかったので、当日の安全のために練習してみようと思ったことと、また、日本の朝練と部活について紹介してみたいと思います。計画しました。二十一日の参加者は約十五名で、かけ声や足運びの練習をしました。朝練の後の朝礼で、日本の小学校では、子供会のミニバスやサッカーの朝練をしたり、中学高校では、学校の部活でたいい種類だけのスポーツをずっと続け、そこでの仲間が生涯の友だちになることが多い、という話をしました。オーストラリアの学校で朝練をしている子供がいるかどうか尋ねてみたところ、ひとりだけ手をあげました。スポーツへの取り組み方の違いには、国民性の違いがあるようです。

第二回の朝練は、七月十二日、八時十分から三十分まで朝会広場で行います。参加者は「むかで競争」の次の要領を覚えてきて下さい。

まず、背の高い順に五人並びます。そして、前の人の肩に両手をのせます。「よしい」と聞こえたら、「そくれ」とか「せくの」と後ろの三人が声かけをし、続けて「一、二」と声を出しま

す。「二」で右足を上げ、「二」で左足を上げます。次に、前の二人が「一」、「二」と声を出し、それを繰り返します。

第三回の朝練は、七月二十六日です。

全校朝会スピーチ

五月十日

BNE 中三 澁谷萌絵

今日は私の生まれた沖縄の伝統楽器、三線さんしんを紹介致します。

三線は、十三世紀から十四世紀頃に中国大陸からかつて琉球と言われていた沖縄に伝わったと言われていす。そして、十七世紀頃には今と同じ形の三線が作られるようになったそうです。

三線は三味線によく似ていますが、大きさ、材質、形が違います。材質は、本体 (胴) は木でできた筒にニシキヘビの皮が張られ、棹の部分も木製で漆が塗られています。演奏する際には、沖縄の水牛の角でできた「バチ」を使います。

日本からニシキヘビの皮を国外に持ち出すことはできないので、この三線には人工の皮が張られています。そして、三味線との一番の違いは音

色です。今日は、「ていんさぐぬ花」という沖縄民謡を演奏するので、三線の音色を聞いて下さい。



五月十四日

G C 中三 清水頼藍

皆さんは、はちみつが好きですか。僕の家では、はちみつを作っています。みんなはどうやってミツバチがはちみつを作るのか知っていますか。ミツバチは花から花へ飛んで行き、花粉を足につけて家に戻って行きます。そして、足から花粉を取り除き、家の中に溜めていき、それがはちみつとなるのです。

特に、春から夏にかけて蜜をいっぱい作ります。この季節は、花がいっぱい咲くからです。冬も活動しますが、僕の父さんは絶対に蜜を取ったりしません。冬は花があまりない季節なので、ミツバチの食べる蜜がなくなるとハチが困るからです。このように、僕たち人間は、ミツバチの食べ物を分けしてもらって、はちみつを食べることができるのです。

今度、はちみつを食べるとき、ミツバチのことを考えてみて下さい。

総領事視察

六月七日にブリスベン校、十四日にゴールドコースト校に総領事がお見えになり、子供たちが元気に日本の国語、算数、数学の勉強をしている姿を視察されました。また、運営委員長より施設の案内と学校の説明があり、オーストラリアで日本の学校と同じような教育が行われていることに感慨を覚えられた様子でした。最後に、教員や関係者への慰労と激励の言葉をいただきました。

お弁当広場

六月十四日にお弁当広場が行われました。あいにく、天気が悪く、ブリスベン校は延期となりましたが、ゴールドコースト校は朝会広場で実施しました。それぞれが美味しそうなお弁当をクラス毎に集まって食べていました。天気がよければもっとよかったです。

のですが、美味しいお弁当が皆で食べると一段と美味しくなったことでしょう。写真は、G C校で友達と一緒に楽しく、ほぼ食べ終えた中学生のお弁当箱と小学生のお弁当広場風景です。さぞ美味しかったでしょうね。

延期となったブリスベン校では、放課後、晴れ間を見てお弁当を楽しんでから帰った方が大勢いたそうですが、中止でなく延期としましたので、改めて実施する予定です。



お知らせ

ブリスベン校幼稚部助手の山岡さんが退任され、代わって、六月二十一日よりリチャーズさんが担当することになりました。

季節の話題

オーストラリアは冬になりましたが、日本の冬とは違い、どちらかと言えば、秋景色です。そんな景色を眺めていると、ときどき、この情景にはどうしても柿の木が必要だと思ふことがあります。オーストラリアで柿の木を見たことはありませんが、スーパーのウールワースでオーストラリア産の柿がパーシモンという名で売られています。数年前にイギリスでもシャロンフルーツという名で売られているのを見たことがあります。

柿に含まれるタンニンには動脈硬化の予防やアンチエイジングに良いと言われています。

柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺

正岡子規

